4｜20～30 防火意識の高揚図る

全道一斉春の火災予防運動

4月20日から30日まで、全道一斉春の火災予防運動が展開され、様々な火災予防啓発活動が実施されました。

初日の防火パレードを皮切りに、29日には小平と鬼鹿地区、30日には達布地区で、消防団各分団と消防署員による火災防ぎょ訓練が本番さながらに実施されました。

また、運動期間中には少年消防クラブや婦人防火クラブ、消防団員、消防署員が高齢者単身世帯防火訪問等の各種火災予防啓発活動を行い、地域住民へ火災予防を行いました。

鬼鹿少年消防クラブによる啓発活動

4｜23 100歳の誕生日おめでとう

佐々木千代さん百賀のお祝い

佐々木千代さん（明治45年4月13日生）の百賀のお祝いとして、関町長が自宅を訪れ、入院中の千代さんに代わり長男の鍛さん夫婦に、お祝いの花束と小平小学校児童からの寄せ書きを手渡しました。

「農作業の影響か、母の筋肉がよく発達していたことが強く印象に残っています」と話す鍛さんは、「母が長生きしてくれて本当に嬉しい。母にこの日のことを伝えたいと思います」と、笑顔で花束を受け取りました。

千代さんに代わって花束を受け取る鍛さんと朋子さん

5｜1 元気に戻れと願い込め

小平小児童サケ稚魚放流

小平小学校の2年生18名によるサケ稚魚放流が、幌沖内川上流で行われました。

児童たちは、回帰率を高めるために中間育成施設で飼育されていた約100万匹の稚魚にエサを与え、バケツやコップを使って優しく丁寧に稚魚を放流し、「元気に戻ってきてね」と声をかけていました。

放流されたサケが、約4年後に2%程の回帰率で遡上することを町職員から説明された児童たちは、改めて自然の厳しさを知り、驚きの声を上げていました。

優しく稚魚を放流する小平小児童

5｜10 火遊びはしません！

小平幼稚園で避難訓練

小平幼稚園で春季避難訓練が実施されました。

訓練が行われることは園児に知らせず、本番さながらの緊張感で訓練が実施されましたが、園児たちは慌てることなく先生の指示でハンカチを鼻と口にあて、速やかに避難することができました。

避難完了後には、消防職員から火災の恐ろしさや避難の仕方を学び、ライター等で火遊びをしないことを約束しました。

また、放水体験もあわせて行われ、ちびっこ消防士に変身した園児らが勇敢な姿を見せていました。

慌てずに避難する小平幼稚園児